

平成26年度予算見積調書

課室名：都市計画課
 担当名：流域下水道担当
 内線：5452

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B7	下水道計画見直し(水質汚濁解析)検討業務費			一般会計	土木費	都市計画費	下水道費	下水道整備調査費	
事業期間	平成26年度	根拠法令	下水道法第2条の2		戦略項目	10	みどりと川の再生		
					分野施策	040103	川の再生		
<p>1 事業の概要</p> <p>生活排水処理施設整備構想に基づき、平成37年度の生活排水処理人口普及率100%を目指し、整備促進を図っているが、国の都道府県構想策定マニュアルが見直されたことから、下水道整備計画の見直しを検討する必要がある。</p> <p>下水道整備計画については、経済性はもとより、広域的な公共用水域の水質確保が求められ、煩雑な手続きが必要となるため、計画の見直しを円滑に行うにあたり、水質汚濁解析を踏まえた下水道計画の見直し素案を作成するものである。</p> <p>(1) 下水道計画の見直し(水質汚濁解析)検討業務委託 8,500千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>下水道計画の見直し(水質汚濁解析)検討業務 8,500千円</p> <p>ア 下水道整備の現状把握 県内市町の下水道整備状況及び平成37年度を目標とした整備計画(見直し素案)の把握。</p> <p>イ 下水道整備計画の見直しによる公共用水域への影響把握 市町見直し素案に基づき公共用水域への影響を把握するため水質汚濁解析を行う。</p> <p>ウ 下水道施設の効率的な整備手法の検討 下水道整備のコスト削減をはじめ、既存施設や農業集落排水施設など、他の処理施設の活用による効率的な整備手法を検討する。</p> <p>エ 下水道整備計画見直し素案の作成 上記イ、ウを踏まえた下水道整備計画見直し素案を作成し、生活排水処理施設整備構想の見直しにおける基礎資料とする。</p> <p>(2) 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 下水道計画の見直し(水質汚濁解析)検討 平成27年度～28年度 生活構想・流域別下水道整備総合計画の見直し 平成29年度～ 下水道計画の変更 <p>(3) 事業効果</p> <p>生活排水処理施設整備目標達成、概ね10年で下水道整備の概成。事業費の縮減。生排構想と整合した、効率的な下水道整備計画手法の確立。</p> <p>(4) その他</p> <p>今後の下水道計画について、県がリーダーシップをとるよう国から求められている。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>(1) 事業費に係る人件費 9,500千円/人×0.3人=2,850千円</p> <p>(2) 組織の新設、改廃及び増員 なし</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	8,500							8,500	8,500
前年額									